* * * * *	保健衛生事業		部 局 名	福祉部
事務事業名			課(室)名	
【基本情報】				
基本目標	01安心して暮らせる	まちをめざして		
政策	02健康づくりや地域	医療を充実する		
施策	01健康管理を充実し	、病気の予防を図	る	
事業実施期間	~ 永	年		
事 業 区 分	①一般事務経費事業			
地 区 別	その他			
関連根拠法令等				
【事業概要】				
現状と課題	献血事業における啓発 ている。また、加古川 による加古川准看護高 閉校し、現在、バリケ	用品の予算措置は 市看護専門学校は 等専修学校として ードによる防犯対	なくなった 、平成 2 (の 4 年を終 策を行って	とものの、支援体制を継続し り年に閉校し、加古川医師会 経て、平成24年3月に完全 こいる。
目 的	保健衛生に関する事業	や施設の充実を図	る。	
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか				
対 象 ※誰、何に対して	血液等を必要とする国	民、旧加古川市看	護専門学材	Ϋ́
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	保健衛生事業全般に関 席、旧加古川市看護専	する調査・研究や 門学校への防犯対	、献血事業 策の修繕等	だにかかる担当者会議への出 等を行う。
【コスト】		【会計】		
	平成28年度(決算見込)	会 計	0 1 一般会	슬 計
事業費合計	156 千円	款	0 4 衛生費	b
国庫支出金	千円	項	0 1 保健衛	新生費
県支出金	千円	目	0 1 衛生約	総務費
地方債		/-	○ 2 5 保係	建衛生事業
その他特財		細 目	0 2 0 7 6 7	E 附 工 于 水
* * 一 般 財 源 【コスト推移】	156 千円			
ロクト推移	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	77	成26年度(決算)
事業費合計		475		420 千円
【総合評価】	100 [[]	110	114	120 111
	□拡充 ■維持 □縮/	小 □改善 □統合	↑□廃止	□休止 □完了
総 合 評 価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	保健衛生事業のうち、 必要な血液の確保につ	献血事業について ながっている。ま	は、行政とた、旧加さ	これ出 325 こして支援していくことで、 古川市看護専門学校の防犯対 重な管理体制を維持していく

事	務	事	業	名	保健衛生事業	部	局	名	福祉部
7	477	71	*	~µ		課	(室)	名	健康課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

ᆚ		+12	4700	kt.	出 片	亚巴00左座	亚比07年度	亚比oc左座
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

	未大的	₹1						-
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
					_			_
							-	
活	動指	桓						
分	動指析結	果						

成	果果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
1300	<i>></i> C	111	.101	^H	T 1.1.	1 /2/20 1 /2	1/1/2111/2	1 //200 1 /2	H W T Z	Н	.1/1/	112
												-
15												
成分	果 指析 結	標里										
<i>)</i> J '	レ1 小口											

加古川市事務事	写業評価シート〈平成28年度実施事業〉
事務事業名	健康診査事業 部 局 名 福祉部
7 W 7 K 1	課(室)名健康課
【基本情報】	
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	昭和58年度 ~ 永年
事 業 区 分	④義務的施策事業
地 区 別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法
【事業概要】	
現状と課題	平成21年度から実施した子宮・乳がん検診及び平成23年度から実施した肝 炎ウイルス検診個別勧奨事業の無料クーポン対象年齢が縮小したことにより、 受診数も減少した。一方、平成24年度より歯周疾患検診個人負担金無料化を 実施し、受診率が向上している。
目的	より多くの市民ががん検診等を受診することで、疾病の予防および早期発見、
**対象(誰・何)を	早期治療の推進を図る。
どのような状態にしたいのか	
(C C/CV 107/31	
対象	18歳以上の市民
※誰、何に対して	
),(HIM) 1,1(=),1	
事業内容	がん検診等を実施し、ちらしの配布や広報等による周知を図るとともに、特定 年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。
事業内容※目的達成のため	がん検診等を実施し、ちらしの配布や広報等による周知を図るとともに、特定 年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。
事 業 内 容	がん検診等を実施し、ちらしの配布や広報等による周知を図るとともに、特定年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。
事 業 内 容 ※目的達成のため	がん検診等を実施し、ちらしの配布や広報等による周知を図るとともに、特定年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。
事業内容※目的達成のため	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 【会計】
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 【会計】
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 【コスト】 事業費合計	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 【会計】 平成28年度(決算見込) 会計 128,093 千円 款 0 4 衛生費
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 【コスト】 事業費合計 財国庫支出金	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 【会計】 平成28年度(決算見込) 会計 01一般会計 128,093 千円 数 04衛生費 2,318 千円 項 01保健衛生費
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 【コスト】 事業費合計 財源	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 「会計」
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 「コスト」 事業費合計 財源内 地方債	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 【会計】
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 「コスト」 事業費支出金 県東支出金 世代の他特別	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 【会計】
事業内容 ※目的達成のための手法 「コスト」 事業庫支出金 県東支出金 地その般財源 一般財源	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 「会計」 平成28年度 (決算見込) 128,093 千円 2,318 千円 8,137 千円 千円 千円 4 回 0 1 保健衛生費 0 2 予防費 細 目 0 1 5 保健推進事業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 コスト】 事業費合計 財源内認 地方時 サルでの地域	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 【会計】
事業内容 ※目的達成のための手法 コスト】 事事 支 出金 県東支 出金 地 方 領財 一般財源 【コスト推移】	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 (会計)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 事業費合計 財源内訳の機財源 本の他特別のおり、 一般財源 コスト】 事業費合計 本の時期源 コスト推移】	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 (会計)
事業内容 ※目的達成のための手法 コスト】 事事 支 出金 県東支 出金 地 方 領財 一般財源 【コスト推移】	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 Temperature
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 事業費合計 財源内訳の機財源 本の他特別のおり、 一般財源 コスト】 事業費合計 本の時期源 コスト推移】	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。 Younger
事業内容 ※目的達成のための手段・手法 事業費合計 財源内訳の機財源 本の他特別のおり、 一般財源 コスト】 事業費合計 本の時期源 コスト推移】	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。
事 業 内 容 ※	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。
事業内の 事業 は かのの まがより 事 は で のの かのおと まずますが、	平成28年度 (決算見込) 会 計 0 1 一般会計 2,318 千円 3,137 千円 千円 117,638 千円 117,638 千円 128,093 千円 128,093 千円 157,333 千円 167,509 千円 157,333 千円 157,509 千円 157,333 千円 157,509 千円 157,509 千円 157,333 千円 157,509
事 業 内 容 ※	年齢の者等に検診無料クーポン券を送付すること等で受診を促進する。

事務事業名	健康診査事業	部 局 名	福祉部
平 初 平 木 石		課(室)名	健康課

【対象】

対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対象数 (女性)	〔20歳	設上の	か	人	111, 904	63, 042	
対象数 (女性)	(40歳	 設以上の	カ	人	83, 417	49, 588	

【事業実績】

【争	·兼天命	頁 】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
子宮	宮がん	検診受	診者	数	人	3, 314	4, 334	
乳カ	ぶん検	診受診	含者数		人	4, 364	4, 895	
ш								
		恭	働く†	世代(の女性支	援のためのがんれ たなステージにえ	食診未受診者対策 なながん検診の	策緊急支援事 N総会支援事
活!	動指	標業	」にら	にる名	無料クー	になれた。 ポン券の対象者数 は減少した。	数の縮小により、	子宮がん・乳
分,	竹箱	米が	ん検討	多の!	党 診者数	は减少した。		

【重業出用】

<u> </u>	事業成:	米 】									
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	票 値
子'	宮がん	検診受	党 診率		%	6.8	14.8		平成32 年度		14. 9
乳	がん検	診受診	冷 率		%	11. 1	19. 7		平成32 年度		19.8

平成28年度は、未受診者への個別の受診勧奨・再勧奨は実施せず。また、全国的ながん検成 果 指 標 診受診率の計算方法の変更により、就業人口を削減せずに20歳以上又は40歳以上の全て分析 結 果 の女性を対称にしたことで、がん検診対象数が増加し、受診率が低下した。

事務事業名	保健指導事業	部	局 名 福祉部
7 40 F		課	(室) 名 健康課
【基本情報】			
基本目標	01安心して暮らせるまちをめ	ざして	
政策	02健康づくりや地域医療を充	実する	
施策	01健康管理を充実し、病気の	予防を図る	
事業実施期間	昭和58年度 ~ 永年		
事 業 区 分	④義務的施策事業		
地 区 別	市内全域		
関連根拠法令等	健康増進法		
【事業概要】			
現状と課題	健康増進法に基づく健康教育・ 齢者のニーズが高く実績として	健康相談の対 は65歳以上	象者は40~64歳であるが、高 が約6割を占めている。
目的	市民の健康の保持・増進を図る	o	
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか			
	40歳以上の市民		
対 象			
※誰、何に対して			
	健康手帳の交付、健康教育、健する。	康相談、訪問	指導及び地区組織活動事業を実施
事 業 内 容) 50		
※目的達成のための手段・手法			
	-		
【コスト】		計】	δπ. ヘ ⇒1
本 * 本 ↑ ⇒1	平成28年度(決算見込) 会		一般会計
事業費合計			衛生費 保健衛生費
国庫支出金	28 千円		保健衛生費 予防費
源地方債	1,017 千円		1790 复
地 方 債	千円 千円	■ 01	5保健推進事業
記 一般 財源	113	H	
【コスト推移】	1,506 千円		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成28年度(決算見込) 平成27年	丰度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計		2,410 千円	2,670 千円
【総合評価】	,	, , , , , , ,	,
17 H H H H	□拡充 ■維持 □縮小 □改割	幸 □統合 □	廃止 □休止 □完了
40) A === (m)			健康増進計画及び食育推進計画に
総合評価	基づき市民の主体的な健康づく		
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価			
(C 319) (C / CH IIII			

事	務	事	業	名	保健指導事業	部	局	名	福祉部
7	477	7'	$\overline{\mathcal{A}}$	~ µ		課((室)	名	健康課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

ᆚ		+12	4700	kt.	出 片	亚巴00左座	亚比07年度	亚比oc左座
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

【 尹	亲 夫爾	₹ 】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活!	動 指	標						
分,	折 結	果						

成	果果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
1300	<i>></i> C	111	.101	^H	T 1.1.	1 /2/20 1 /2	1/1/2111/2	1 //200 1 /2	H W T Z	Н	.1/1/	112
												-
15												
成分	果 指析 結	標里										
<i>)</i> J '	レ1 小口											

事務事業名	予防接種事業(健	康課)	部 局 名	福祉部
			課(室)名	健康課
【基本情報】				
基本目標				
政策	3 = Ve/At = () () = ()			
	01健康管理を充実し		る	
事業実施期間	,,,	年		
	④義務的施策事業			
地区別	その他			
関連根拠法令等	予防接種法			
【事業概要】				
現 状 と 課 題	高齢社会の到来により いる。平成25年度に 行った。また、平成2 た。	対象者が急増して: おいては、風しん 6年度から、肺炎	おり、事業 予防接種助 球菌ワクチ	の必要性がさらに高まって 成事業を単年度事業として ンが定期予防接種化され
目的	高齢者のインフルエン	ザ及び肺炎球菌感	染症の罹患	及び重症化を防止する。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか				
対 象 ※誰、何に対して	は、満65歳、70歳	、75歳、80歳、 れの予防接種も満	、85歳、 60歳以上	5炎球菌ワクチン予防接種 90歳、95歳又は100 65歳未満の人で、心臓、
事業内容	県内の協力医療機関に 市2町)以外の医療機	よる個別接種を委員で接種を希望す。	託している る場合は事	。ただし、東播磨圏域(3 F前申請を必要としている。
※目的達成のため の手段・手法				
【コスト】		【会計】		
	平成28年度(決算見込)		0 1 一般会	
事業費合計	156,815 千円		0 4 衛生費	
財 国 庫 支 出 金	千円		0 1 保健衛	
源		目	02予防費	7
地方债		細 目	0 1 1 予防	
その他特財		細 目		7.0.1.
** 一 般 財 源 【コスト推移】	156,815 千円			
「コハトがは物」	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	立	成26年度(決算)
事業費合計		142,640		141,882 千円
【総合評価】	100,010 111	112,010	1 1 4	111,000 111
	□拡充 ■維持 □縮/		・ 口盛止	口休止 口完了
総 合 評 価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	高齢者のインフルエン	ザ及び肺炎球菌感 高いため、現行ど:	染症につい おり本事業	っては、重症化しやすく、ま を継続し、高齢者の経済的

事	務	事	業	名	予防接種事業	(健康課)	部	局	名	福祉部
7	477	7'	π	7 µ			課	(室)	名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

平成26年度
1 100 1 10

【事業実績】

	未大的	₹1						-
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
					_			_
							-	
活	動指	桓						
分	動指析結	果						

成	果果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
1300	<i>></i> C	111	.101	^H	T 1.1.	1 /2/20 1 /2	1/1/2111/2	1 //200 1 /2	H W T Z	Н	.1/1/	112
												-
15												
成分	果 指析 結	標里										
<i>)</i> J '	レ1 小口											

加百川川事務寺	事業評価シート〈平成28年度実施事業〉
事務事業名	加古川総合保健センター管理負 担事業 課(室)名健康課
【基本情報】	
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	
施策	
事業実施期間	
	⑤市施策事業(経常)
地 区 別	その他
関連根拠法令等	
【事業概要】	
現状と課題	加古川総合保健センターは、平成27年1月にJR加古川駅北に移転しており、交通利便性が向上し、利用可能面積も広くなった。
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	JR加古川駅に近く、大人数の収容が可能な同一会場を確保することで、利用者の利便性を考慮しながら、計画的な健診等を実施する。
対 象 ※誰、何に対して	加古川総合保健センター内のウェルネージホール等で実施する健診や相談、ふれあい教室等に参加する住民
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	加古川市が専用利用している加古川総合保健センター内のウェルネージホール等にかかる管理費用分等に対し負担金を支出する。
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計
事業費合計	10,770 千円 款 0 4 衛生費
国庫支出金	千円 項 01保健衛生費
原 支 出 金	千円 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
地方債	0.0.5.伊佛告上市光
その他特財	千円 組 目 025保健衛生事業
一般 財源	10,770 千円
【コスト推移】	
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	10,770 千円 11,998 千円 6,104 千円
【総合評価】	
総 合 評 価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 保健予防活動の充実を図るための拠点施設として活用していくことが必要であり、利用にあたり市として管理費用等を負担することは妥当であるため、継続して実施していくことが望ましいと考える。

事	務	事	業	名	部	局 名	福祉部
7	477	7'	*	~ ⊔	課	(室) 名	健康課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施調	殳数				施設	1	1	1

【事業実績】

【事未天	// / /						
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川総ター市利	8合保候 月用部分	建セン 分負担	金	千円	10, 709	11, 766	6, 104
	平が	成27	年に	1月に移転	ことに加古川総合 いた面積の1	合保健センタート 3倍とかるため	

活動指標分析結果

平成27年1月に移転した加古川総合保健センター内の市利用部分が、以前に利用していた面積の1.93倍となるため、負担金が増額した。

【事業成果】

1 7	未以不											
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
加タ数	7川総合 -市利用	保健 部分	セン 使用日	1	日	205	197	121	平成32 年度			200
		1111	□ <i>b</i> +. Ъ-	\	h 0/F	明は田口米ない	40日毎度でも	+ + 0 25 0 0	へ 口知座	() - 1.出土	ıп ì <i>-</i>	

成果指標分析結果

旧保健センターの年間使用日数が140日程度であったものが、200日程度に増加した。

事務事業名	口腔衛生推進事業		部 局 名 福祉部
7 W 7 A A			課(室)名健康課
【基本情報】			
基本目標	01安心して暮らせるま	ちをめざして	
政策	02健康づくりや地域医	療を充実する	
施策	01健康管理を充実し、	病気の予防を図	 る
	平成18年度 ~ 永年		
事業区分			
. ,,,	その他		
関連根拠法令等			
【事業概要】			
現状と課題	は 古光に正子に曲田の)、口や歯の健康)2分の1に対し	と健全な健康づくりの充実を図るた 、予算の範囲内で支援している。
目的	口腔に関する知識を深め	、口や歯の健康	を守り、全身状態を良好に保つこと
※対象(誰・何)を	で、健全な健康づくりの	充実を図る。	
どのような状態にしたいのか			
対 象	播磨歯科医師会が実施す	る歯科衛生診療	等に参加する住民
※誰、何に対して			
事業内容	│播磨歯科医師会が実施す 分の1に対し、予算の範		健康づくり推進事業に要する費用の2 支出する。
※目的達成のため			
の手段・手法			
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)		0 1 一般会計
事業費合計			0 4 衛生費
国庫支出金	,		0 1 保健衛生費
財 ———			
源集支出金		目	0 1 衛生総務費
地方債		細 目	025保健衛生事業
その他特財	, , ,	水山	
一般財源	5,000 千円		
【コスト推移】	亚比90年度(汝祭月江)	亚比97左连(汝答)	亚中欧东南(沙湾)
± 44 ± 1 1	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	
事業費合計	5,000 千円		千円 千円
【総合評価】			
総合評価	播磨歯科医師会と十分な	:協議を行いなが	ら、事業精査を行う。
※妥当性·有効性			
・効率性の視点をもとに総合的			
に判断した評価			
	l		

事務事業名	口腔衛生推進事業	部	局 名	福祉部
Ŧ W Ŧ 木 和		課((室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市 1付住民 口)	人口 基本台	(10 <i>)</i> 計帳人		人	268, 643		

【車类虫缍】

	業実績	責】							
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
地域回数	或歯科 数	保健分	分野活	動	口		20		
学村回数	交歯科 数	保健分	分野活	動	口		11		
活分	動 指析 結		間を達	通じ	て、月	- 12 2	2回程度の割合で	で活動を行なって	ている。

【事	業成果】										
成	果打	旨 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
イ~	ドント等	参加者数		人	1, 036			平成32 年度		1, 0	000
								牛度			
-1	田七五		きし	ハき健康に	フェアでは80()人を超える参加	叩があった。				
分分	果 指 標										

= 7 . 1 . 7 . 7 . 7	
事務事業名	市民ヘルスケア補助事業 部局名福祉部
	課(室)名 健康課
【基本情報】	
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施 策	0 1 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成19年度 ~ 永年
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)
地 区 別	その他
関連根拠法令等	
【事業概要】	
現状と課題	住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見、早期治療の意識を促すため、健康や医療に関する幅広いテーマでの講演、講習等を行っており、事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で支援している。
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	健康や医療に関する幅広いテーマでの講演、講習等を行うことで、住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見、早期治療の意識を促す。
対 象 ※誰、何に対して	加古川医師会が実施する各種健康に関する講演会等に参加する住民
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	加古川医師会が実施する市民ヘルスケア支援事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で補助金を支出する。
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計
事業費合計	9,000 千円 款 0 4 衛生費
」 国庫支出金	千円 項 01保健衛生費
財界支出金	千円 01衛生総務費
源 地 方 債	千円
と の 他 特 財	千円 細 目 025保健衛生事業
訳 一般 財源	9,000 千円
【コスト推移】	3, 000 111
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	
【総合評価】	
Fuse to the I	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	健康や医療に関連する分野は、専門知識を持った医師等の意見や援助が必要不可欠であるため、継続して事業を実施していくべきである。
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	

事務事業名	市民ヘルスケア補助事業	部 局 名	福祉部
事 切 事 未 石		課(室)名	健康課

【対象】

対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市 1付住民 口)	人口 基本台	(10, 計帳人		人	268, 643	268, 643	270, 679

【重業宝繕】

【事業実績]					
活 動	指	標 名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
健康分野活	動回数	女	□	85	72	67
医療分野活	動回数	女	口	57	56	57
	_					
活動指射分析結身		を通じ`	て、週に:	2 回程度の割合で	で活動を行ってい	い る。

【事業成果】

	$\mathcal{N}^{\mathcal{P}}\mathcal{N}^{\mathcal{N}}$	• 4															
成	果	指	標	名	単	位	平成28年	三度	平成2	7年度	平成	26年度		目標年度	皿	標	値
イベ	ミント等	等参加	者数		人			980		1, 149		1,54	15	平成32 年度		1,	000
														年度			
			~?) . I	Н.	☆ /ァ ト	10 7	ニルセフ	+ 101	、土田	かまっ	<u> </u>) (E)	O IE	7月月/史) マ)-J-	ほぼ与	ान
		11	ハノト	・Vリイ	分によ	・リエ	うはある	(1) (J)	ハ、 甲氏	() 健康プラ	ォーフュ	コ(午:	タル	川荆1年) ()	14	ほぼ毎	: [1]

成 果 指 標 1 0 0 人を超える参加がある。 分 析 結 果

事務事業名	地域保健医療情報システム事業 課(室)名 健康課
【基本情報】	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施 策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成1年度 ~ 永年
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)
地 区 別	その他
関連根拠法令等	
【事業概要】	
現状と課題	当初は健康管理のみを中心に運用を開始したが、機能を充実させてきた結果、現在、成人保健システムや感染症情報提供システム、介護保険の認定審査で利用する主治医意見書システム等、複合的な機能を備えたシステムとなっている。
目的	地域住民が安心して健康で豊かな生活を送ることができるよう健康管理を支払
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	し、医療や保健分野等と連携のとれた基盤整備を行う。
41.	地域保健医療情報システムに蓄積された健康及び医療データの閲覧等に同意し
対 象 ※誰、何に対して	た加古川市、稲美町及び播磨町の住民
事 業 内 容	同意書やカインドカードの配布回収業務や、新規参画医療機関の確保、各種ミステムの改良及び保守業務等に加え、健診データも活用する必要性があることから、加古川総合保健センターに委託し実施している。
※目的達成のため の手段・手法	
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計
事業費合計	81,840 千円 款 0 4 衛生費
国庫支出金	千円 項 01保健衛生費
県 支 出 金	千円 目 01衛生総務費
地方債	千円 千円
その他特財	千円 細 目 030地域保健医療情報システム事業
一般 財源	81,840 千円
【コスト推移】	
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	81,840 千円 81,849 千円 81,890 千円
【総合評価】	
	□拡充 □維持 □縮小 ■改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
総合評価	┃地域住民の健康管理を支援するだけでなく、行政が業務を行う上で必須として ┃いる機能もあることから、機能の必要性を精査しながら、今後も継続して事業
※妥当性・有効性	を行っていくことが望ましいと考える。
・効率性の視点 をもとに総合的	
に判断した評価	

事	系 務	事	業	名	地域保健医療情報システム事業	部	局 名	福祉部
7	• 423	7'	\wedge	^H		課	(室) 名	健康課

【対象】

対 象	指	標	名	単	位	平成28年度		平成27年度	平成26年度
地域保険テム登録	建医療情 录者数	青報シ	ス	,	人	153, 668	8	149, 935	172, 016
加古川均	地域医療	孫機関		,	牛	203	3	203	197

【事業宝績】

【事	業実績	責】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
テノ意し	成保健 へのデー へた加 なび播	ータ関 古川市	覧に気	司	人	56, 450	54, 732	64, 063
テム	【保健 へに参 地域	画して	こいる	ス 加	件	130	130	127
活动	動 指	る		š 4	0 %程度(こ留まっており、	更なる向上を図	図る必要があ

【事業成果】

成 果	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
地域保険テム同意	建医療情 意率	報シン	ス	%		37	37	37	平成32 年度			50
地域保険テム参照	建医療情 回医療機	報シス関率	ス	%		64	64	64	平成32 年度			80
		画医塔	マ松は	関索け	6 /	L 1 %となっている	L ろが	L や肛門科など、:	∥ ンステムを	<u> </u>	1 15 2	LA

成果指標分析結果

| 参画医療機関率は64%となっているが、泌尿器科や肛門科など、システムを活用しにくい | 診療科目の医院も含まれている。

事務事業名	兵庫県健康大学加古川講座負担部 局 名 福祉部事業課 (室) 名 健康課
【基本情報】	
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施 策	01健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	昭和50年度 ~ 永年
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)
地 区 別	その他
関連根拠法令等	
【事業概要】	
現状と課題	行政の一部負担額を変更することなく、事業開始当初からこれまで、同様の支援を継続している。
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	健康づくりに関する知識を医師等の専門家から提供することで、より健康に対する意識の向上を図り、自主的な健康づくりを促す。
対象 ※誰、何に対して	健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び播磨町の住民
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	兵庫県医師会が加古川医師会に委託している、健康に関する講座開設事業に対 し、負担金を支出する。
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計
事業費合計	240 千円 款 0 4 衛生費
国庫支出金	千円 項 01保健衛生費
県 支 出 金	
地方債	千円 0.2.5 促健衛生事業
その他特財	千円 細 目 0 2 5 保健衛生事業
一般財源	240 千円
【コスト推移】	
±	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	240 千円 240 千円 240 千円
【総合評価】	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 兵庫県が実施主体である事業ではあるものの、個人の健康づくりのために行政 が支援していく事業であるため、継続して支援を行っていくべきであると考え る。

事	務	事	業	夕	201千小吃水201加口川岭上炙1111	部	局名	福祉部
7'	477	7'	禾	泊	事業	課	(室) 名	健康課

【対象】

対 象	指	標	名	単	位	平成28年		平成2	7年度	平成2	6年度
健康に関望する加町及び摺	引する請 1古川市 磨町の	棒座を 可、稲 の住民	希美	J			103		97		93

【事業実績】

【 事	事業実績	責】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
健原	東大学	開講回	回数		回	17	17	17
		相呼	th 2	2 日目	担べの宝は	<u> </u> 		べなると思われ
JT.	私 批	る		7 73 1	可(少天》		C近V 開催回数 、	(W) () () () () () () ()
活分	動指析結	果						

<u></u> 【 争	・美成り	₹.				_					
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
健愿	東大学	平均参	加数		人	84	81	76	平成32 年度		100
									牛皮		
		1	11.45.1.	- 1/4)	() () ()	(a) 1		A 1 1 1		
时	果 指		均参加	1数7	が减少傾	向にあるため、	参加者向上に向り	ナた取り組みを植	食討する必	要がある	0
分	果 指	果									

事務事業名	健康つくり文援事業	部 局 名
事 初 事 木 相		課(室)名健康課
【基本情報】		
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざし~	
政策		
施策		
		본 IA 3
事業実施期間	7777	
事業区分	S 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	
地区別	市内全域	
関連根拠法令等	健康増進法	
【事業概要】		
現状と課題	14 バニンフのといぬ声	る「健康寿命の延伸」を達成するために 動、禁煙などのよりよい生活習慣の実践に 予防への取組が重要である。
目的	市民の主体的な健康づくりの取組みる	を支援する。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか		
対象	市民	
※誰、何に対して		
事 業 内 容	健康づくり支援事業への参加者を募集 康に関する教室を実施する。	集し、参加者に対して健康情報の提供や健
※目的達成のため		
の手段・手法		
【コスト】	【会計】	
	平成28年度(決算見込) 会	計 01一般会計
事業費合計	234 千円 款	0 4衛生費
工 国 庫 支 出 金	千円 項	0 1 保健衛生費
財界支出金	千円 目	02予防費
源地方債	P	
さの他特財	7.1.	□ 015保健推進事業
訳 一般 財源		
【コスト推移】	201	
11111	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計		288 千円 212 千円
	201 1 2	212
【総合評価】	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □	
総 合 評 価	するためには、市民の主体的な健康~	欠健康増進計画・食育推進計画)」を推進 づくりへの取組みを支援するしくみを継続
※妥当性・有効性・効率性の視点をとに終る	して実施する必要がある。	
に判断した評価		
	1	

事務事業名	健康づくり支援事業	部 局 名 福祉部	
7 W 7 A		課(室)名健康課	

【対象】

度 平成26年度
736 270, 784

【事業実績】

1 尹木大順						
活 動	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
健康情報の	提供回数		□	3	3	3
健康に関す 施回数	る教室の	実	□	2	2	2
	亚武 9	6年1	かん 宝ね	東 東 宝 な 田 思	見である7日から	ニュッ日までの

活動指標分析結果

平成26年度から実施。事業実施期間である7月から12月までの6か月間に、事業参加者に対して「健康だより」を3回送付し健康情報の提供を行うとともに、健康教室を2回開催した。

【事業成果】

事未以不	4						
成果	指標	名 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標
事業参加者	分数	人	239	300	277	平成32 年度	30
目標・取組	はみ達成者率	%	67.8	69. 7	60. 3	平成32 年度	7
				よみム市)ヶ河卒)	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		小 <u>节</u> ,口化力

成果指標分析結果

事業参加者は239人であった。運動や食事に留意し、適正体重や健診データ改善を目指す 個人目標が多かった。また、目標の達成者は162人、67.8%であった。

事務事業名	自殺予防事業	部 局 名 福祉部
J. 423 J. A. 14		課(室)名健康課
【基本情報】		
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	
施策	01健康管理を充実し、病気の予防を図	る
事業実施期間	平成22年度 ~ 永年	
事 業 区 分	⑥市施策事業(臨時)	
地 区 別	市内全域	
関連根拠法令等	自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、兵	庫県自殺対策推進方策
【事業概要】		
現状と課題	全国の自殺による死亡者数は、平成24 市では、過去5年間概ね60名前後で推 平成27年は47名、平成28年は44 減少を目指す必要がある。	移していたが、平成26年は42名、
目的	自殺者数の減少を目指す。	
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか		
	加古川市内に在住している市民	
対 象		
※誰、何に対して		
事 業 内 容	1)ゲートキーパー養成研修を開催する実施する。 3)「死亡小票」による	。 2) 自殺予防に関する健康教育を 分析 4) 先進地視察
※目的達成のため の手段・手法		
の子段・子伝		
【コスト】	【会計】	
		0 1 一般会計
事業費合計		0 3 民生費
国庫支出金	千円 項	0 1 社会福祉費
源 基 出 金		0 1 社会福祉総務費
地方債		065自殺予防事業
その他特別	十円	
	176 千円	
【コスト推移】	T. Dook it (AMEN)	T-Dook to (MA)
±	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算	
事業費合計	458 千円 422	千円 1,589 千円
【総合評価】		
		↑ □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	全国的にみても自殺による死亡者が減少 していく必要がある	してわり、今後も別さ続さ事業を継続
※妥当性·有効性		
・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価		

事務事業名	自殺予防事業	部 局 名	福祉部
事 仂 事 未 4		課(室)名	健康課

【対象】

1/1/2/							
対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市1付住民口)	「人口 と基本台	(10,		人	268, 643	269, 635	270, 679

【車类宝徳】

【争兼天	頹】						
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
ゲートキ 修参加人		一養成	研	人	530	200	473
自殺予防 教育参加		る健	康	人	948	1,007	1, 464
活動指	会	と連	隽し、	教職員	・ 対研修についてに と対象とした研修 プレイを交えた研	冬会を実施。また	と、市民対象と

分析結果修を実施。●健康教育参加人数は横ばい状態である。

【事業成果】

7 +	木水	/N.											
成	果	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
自和	投率	(人口	10万	人	人		16. 3	17. 4	15. 5	平成34			15
対)			10万							平成34 年度			
						\top							
						-							
		-	与狐龙小	<u> </u>	T (4) T	т.	亚巴0.4万1	. O 1 O TÉ	出のこ年はのこ	1 -5 +	2-28	77 H	_

自殺率は、平成23年、平成24年と21.2、平成25年は25.4であったが、平成成果指標26年は15.5と大きく減少した。その後、平成27年については、17.4、平成28分析結果年は16.3と推移しており、全国、兵庫県と比して僅かながら低い数字になっている。

	「 石綿ばく露者健康管理調査事業 部 局 名 福祉部
事務事業名	課(室)名健康課
【基本情報】	
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
	01健康管理を充実し、病気の予防を図る
	平成28年度 ~ 平成31年度
事 業 区 分	⑥市施策事業(臨時)
地 区 別	市内全域
関連根拠法令等	石綿による健康被害の救済に関する法律案に対する附帯決議(平成18年1 月)
【事業概要】	
現 状 と 課 題	兵庫県下では加古川市のほかに、尼崎市、西宮市、芦屋市が、全国では、神奈川県、岐阜県、大阪府、奈良県、福岡県、佐賀県が環境省から受託している。本事業の対象者(石綿(アスベスト)による健康不安を抱える市民)の把握が困難である。
目 的	肺がん検診、胸部CT検査等を行い、保健指導を実施し、受診者の健康管理や 不安の軽減に努める。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	
対象 ※誰、何に対して	石綿(アスベスト)による健康不安をかかえる18歳以上の市民のうち、本調査事業の対象者であり調査への協力に同意する者。18歳以上人口の0.05%とみなす。
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	対象者の把握が困難なため、チラシ等の配布により、事業の周知に努める。
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計
事業費合計	2,944 千円 款 0 4 衛生費
国庫支出金	千円 項 01保健衛生費
県 支 出 金	2,832 千円 0 2 予防費
地方債	千円 4 日 0 1 5 保健推進事業
その他特財	一 <u>千円</u> 細目 0.1.3 保健推進事業
一般財源	112 千円
【コスト推移】	
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	2,944 千円 千円 千円
【総合評価】	
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	平成31年度までの環境省からの受託事業である。市広報、市ホームページなどを通して、市民への本事業の周知に努める。
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	

重	淼	重	丵	夕	石綿ばく露者健康管理調査事業	部	局	名	福祉部
7	427	7'	π	~ µ		課	(室)	名	健康課

【対象】

対	象	指	標	名	単	位	平成28年度	吏	平成27年度	平成26年度
対象者健	者数 集康管理	(石絹 里調査	見ばく記 至事業)	露		人	1	100		

【事業実績】

F 1.	不入原	. 4							
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
チラ	シ配を	F枚数	ξ		7	汝	115, 955		
周知	回数				-	口	7		
		事	業の原	 ラ知の	のた	めに、	健診カレンダ	一の各戸配布、	市広報掲載、町

内会回覧、市ホームページ掲載、各事業でのチラシ配布などを行っ

【事業成果】

1 7 7 10														
成果	指	標	名	単 位	江 平	元成28年度	平成27年	F 度	平成:	26年度	目標年度	目	標	値
石綿ばく	〈露者例	建康管理	里	人		58					平成31			50
石綿ば 調査事業	美受診者	<u>×</u>									年度			
											1			
											 			
	チ	ラシ等	の西	記布に加	えて、	健診申し	込み時での	周知を	と行った	:結果、:	58名が受	診し	た。	

成果指標分析結果